

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.vinx.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) (各種お手続き) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第二部

第28期 年次報告書

Make IT better with
VINX 2016.4.1 ▶ 2017.3.31

VINX

株式会社ヴィンクス
本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8
TEL.06-6348-8951 (代)
<http://www.vinx.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

ホームページのご案内

当社に関する情報は
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.vinx.co.jp>



VINX 株式会社 ヴィンクス

証券コード：3784

人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を
情報システム技術で融合し、
豊かな社会の実現に貢献します。



代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに第28期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)における
当社グループの事業概況等を謹んでご報告申し上げます。

当連結会計年度の連結経営成績

	前期	当期	前年比
売上高	270億94百万円	274億30百万円	101.2%
営業利益	14億43百万円	13億9百万円	90.7%
経常利益	13億86百万円	12億43百万円	89.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8億5百万円	8億59百万円	106.7%

売上高

既存の主要顧客への積極的な提案を継続して行ってきた結果、案件の受注拡大につながり、
前年値を上回る結果となりました。

利益面

戦略的に投資を拡大させた結果、営業利益と経常利益は、前年値を下回る結果となりました。

アウトソーシング分野

システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、
ヘルプデスクサービス、ASPサービス等

売上高	128億37百万円
前年差	3億36百万円減 前年比 97.4%
計画差	1億8百万円減 計画比 99.2%

営業利益	7億34百万円
前年差	42百万円増 前年比 106.2%
計画差	93百万円増 計画比 114.6%

プロダクト分野

オープンPOSパッケージ、クラウド型タブレットPOSパッケージ、
CRMパッケージ、MD基幹システム、次世代統合運用等

売上高	14億27百万円
前年差	1億99百万円減 前年比 87.7%
計画差	4億77百万円減 計画比 75.0%

営業利益	46百万円
前年差	78百万円減 前年比 37.1%
計画差	69百万円減 計画比 40.0%

配当につきまして

2017年3月期の期末配当金につきましては、当初の予想どおり1株当たり10円とすることといたしました。また、
次期における1株当たり配当金につきましては、年間20円(中間:10円、期末:10円)を予定しております。

ソリューション分野

流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシステム、
ネットビジネス等

売上高	71億22百万円
前年差	8億45百万円減 前年比 89.4%
計画差	17億96百万円減 計画比 79.9%

営業利益	4億58百万円
前年差	93百万円減 前年比 83.1%
計画差	52百万円減 計画比 89.8%

その他IT関連分野

ハードウェア販売、店舗システム導入展開サービス等

売上高	60億42百万円
前年差	17億17百万円増 前年比 139.7%
計画差	18億12百万円増 計画比 142.9%

営業利益	69百万円
前年差	5百万円減 前年比 92.4%
計画差	37百万円増 計画比 214.8%

2016年度の主な営業トピックス

商品サービスの差別化戦略	専門店	<p>POSシステム</p> <p>全国に展開する大手総合衣料専門店様よりPOSアプリケーション案件を受注いたしました。</p>
	専門店	<p>在庫管理システム</p> <p>大手の工具専門店様やアウトドア・衣料品専門店様より在庫管理等の業務システムの案件を受注いたしました。</p>
	ドラッグストア	<p>MD基幹システム</p> <p>中国および四国地方を中心に展開する中堅ドラッグストア様にて本番稼動することが出来ました。</p>
グローバル戦略	流通・サービス	<p>店舗/基幹システム</p> <p>書籍を中心とする大手総合リユース業様のマレーシア新店出店に伴う対応を行いました。</p>
	流通・サービス	<p>テナント管理システム</p> <p>中国の大手ショッピングセンター開発・運営会社様よりテナント管理システムの案件を受注いたしました。</p>
特定顧客化戦略	スーパーマーケット	<p>POSシステム</p> <p>中国および四国地方を中心に展開する大手スーパー様より前年に受注したMD基幹システムに加えて新規POS案件を受注いたしました。</p>
	スーパーマーケット	<p>POSシステム機器のリプレイス</p> <p>関東地方を中心に展開する大手スーパー様よりPOSシステム機器のリプレイス案件を受注いたしました。</p>

グローバル戦略の結果

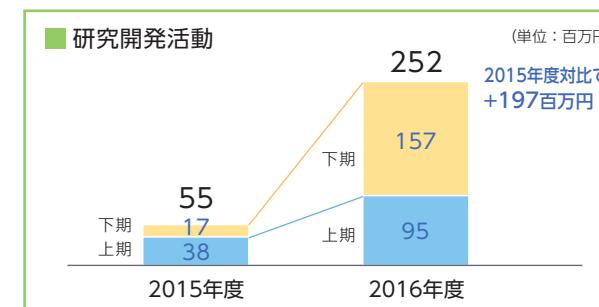
アジアの有力なパートナー様との連携を強化し、受注拡大・当社プロダクトの拡販を実施いたしました。

受注状況

POS定額利用サービス(*1)
POS関連機器の調達・設置等の初期投資および運用費用が抑制可能なサービスをアセアン地域に進出している日本の流通・サービス業向けに提供開始
ITフルアウトソーシングサービス(*1)
大手総合小売業のマレーシア法人様の保守・運用業務まで含めたITフルアウトソーシングサービスの提供を開始
POSシステム(*1&*2)
マレーシア・ベトナムの飲食店様よりPOS案件を受注

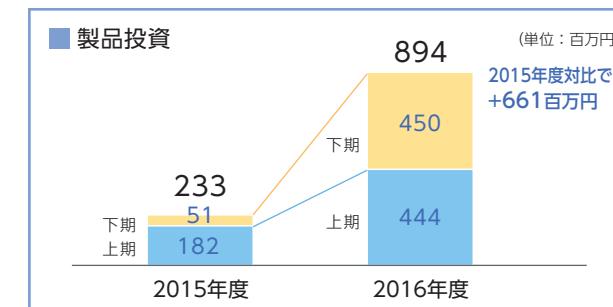


研究開発等・製品投資の状況



2016年度 主な研究開発等の明細

No	概要
1	専門店向けオムニチャネル&基幹システムの研究開発
2	スーパーマーケット版『ANY-CUBE Neo』の研究開発
3	『SoftWareCAT』の研究開発
4	ロボットPOS標準インターフェイスの研究開発
5	顧客の売上向上に繋がるソリューションの研究開発
6	グローバル事業推進のための調査



2016年度 主な製品投資の明細

No	概要	製品名
1	海外向けMD基幹システム開発	MD基幹システム
2	大手総合小売業グループ様向けMD基幹システム開発	MD基幹システム
3	『ANY-CUBE Neo』に関する追加開発	次世代POSソリューション ANY-CUBE Neo

2016年度の主なトピックス〈その他〉

新商品のリリース | 2016年5月 |

●最新型クラウドPOSシステム『ANY-CUBE[®] Neo』を発売 **ANY-CUBE[®] Neo**
POS for the Next Value
 Microsoft AzureをPOSセンターサーバに採用し、クラウド対応はもとより小売業様の競争力向上を目指し、POSアプリケーション『ANY-CUBE[®]』に新たな差別化機能を搭載しました。

松山オフィスの開設 | 2016年11月 |

中国および四国地方のお客様に対する営業力の強化と支援体制の充実、当該地方におけるビジネス基盤の拡充を図るため、松山オフィスを開設いたしました。

「リテールテックJAPAN 2017」への出展 | 2017年3月 |

「進化する“クラウド・モバイル”&“グローバル”リテールプラットフォーム」をテーマに、業種別(SM、ドラッグストア、専門店様)とグローバル(海外進出企業様)のコーナーに分け、店舗から本部までのトータルソリューションを展示しました。
 また、新技術応用ソリューションコーナーを設置し、最新トレンドへの対応をPRしました。



株式会社トランスメディアGPと販売協力 | 2016年10月 |

流通・サービス業向けスマートフォン用アプリケーション「店舗アプリ」の権利を取得し、ITを活用したプロモーション分野へ参入し、事業拡大を目指していきます。

株式会社ホロンと資本業務提携 | 2017年1月 |

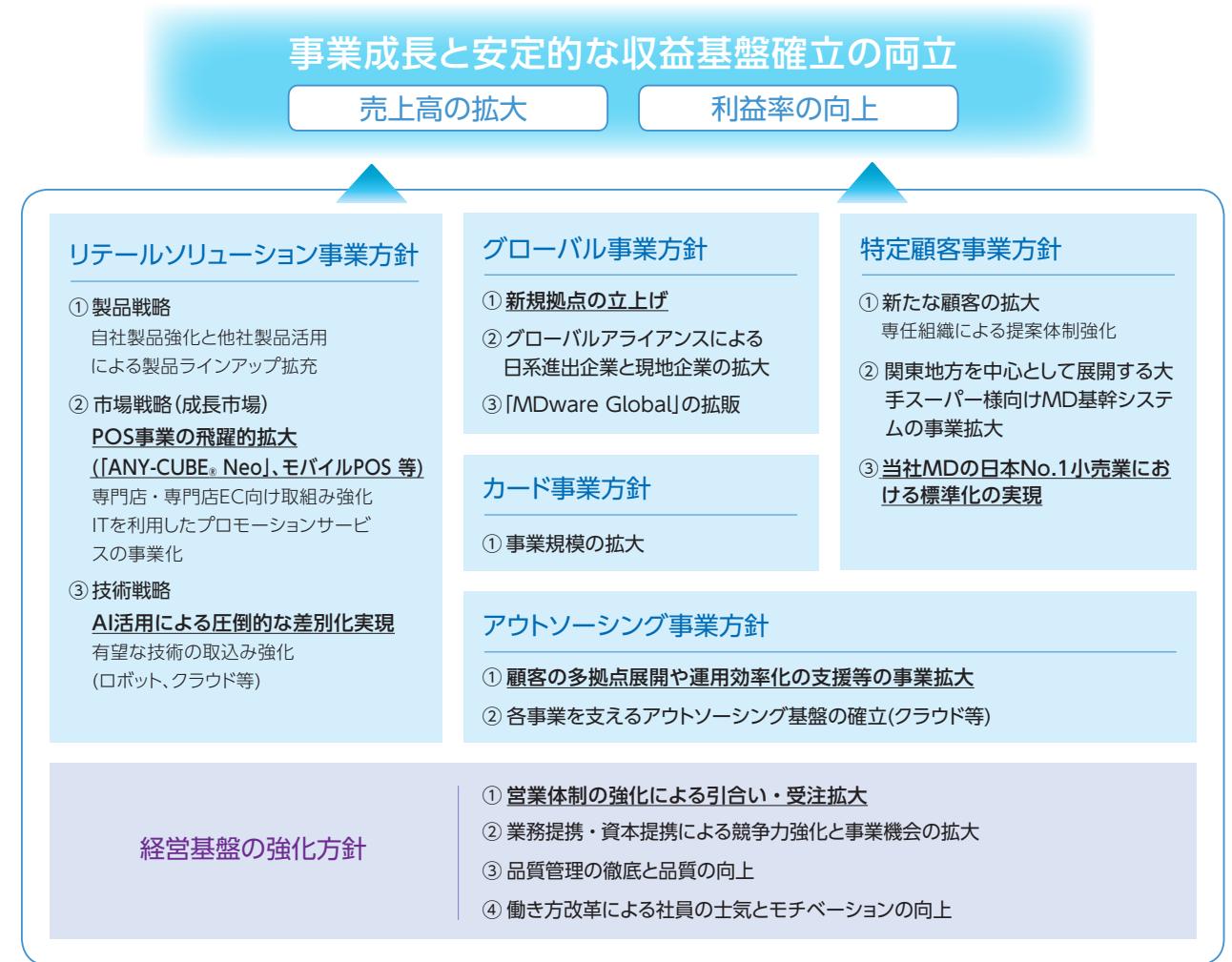
専門店向けMDシステム AP-Visionと、当社のPOSシステム・ECシステムを連動させ、オムニチャネル対応システムとして専門店市場に展開していきます。

カラフル・ボード株式会社と資本業務提携 | 2017年2月 |

人工知能SENSYと当社の流通小売向けシステムとを連携させ、アパレルをはじめとした小売業へAIを活用したソリューションを提供していきます。

2017年度の事業方針

当社グループは、5つの事業方針に基づき、国内事業の拡大とグローバル展開を加速し、事業の継続的な成長に努めてまいります。



中期方針

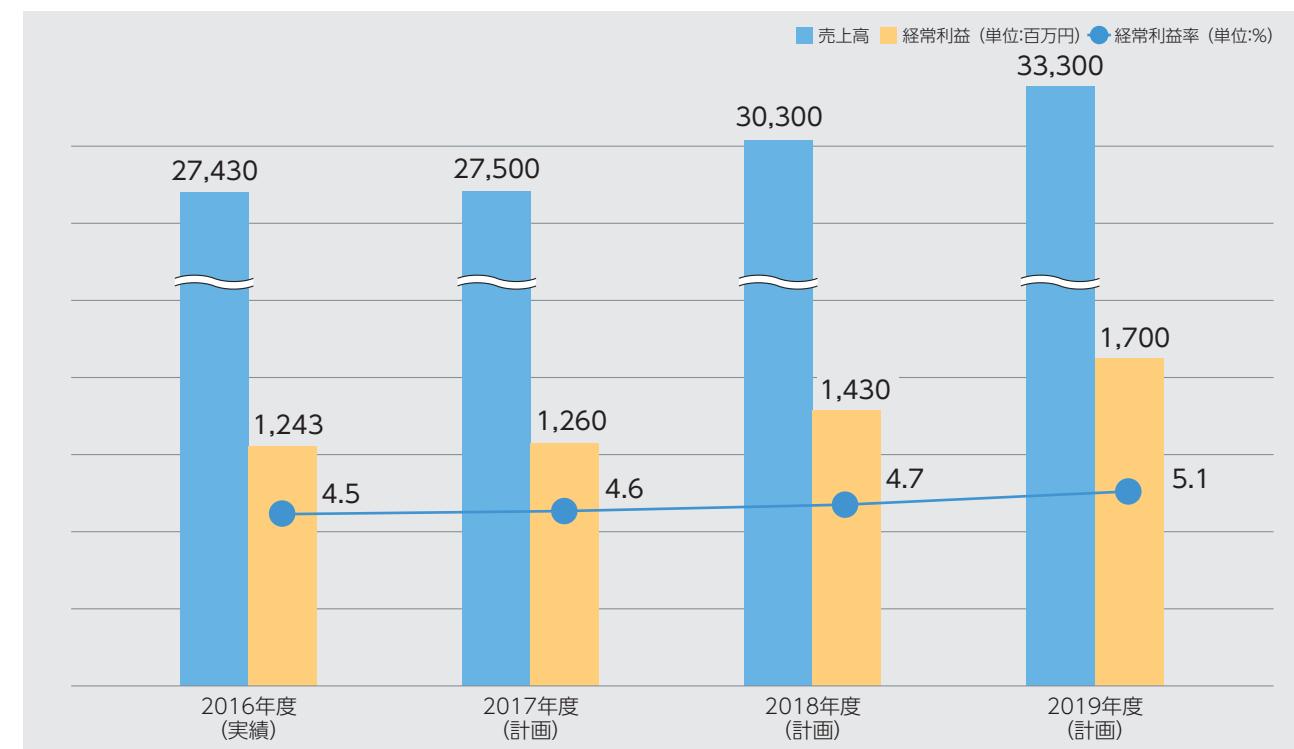
経営理念	人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。
ビジョン	アジアにおける流通ITのリーディングカンパニー(*)を目指す
戦略	流通ITでお客様の業績向上に貢献し、業績拡大させる

*リーディングカンパニーとは — No.1のお客様(顧客基盤)、No.1の商品(武器)、No.1の規模と3拍子揃った主導的な企業

リーテルソリューション事業戦略	業種業態別に、幅広く最適なソリューションを提供する (“お客様”を増やす!)
プロダクト事業戦略	No.1商品・サービス創出、他社製品の活用を含めて商品ラインナップを強化する (“武器”を増やす!)
グローバル事業戦略	中国・アセアンで、パートナーとの連携を強化し、日系企業の海外進出や現地小売企業の高度化を支援する (“市場”を開拓する!)
特定顧客事業戦略	業種および地域のトップ企業の情報システム部門として、売上向上と課題解決に貢献する (“お客様の中のシェア”を増やす!)
フィナンシャル事業戦略	カード事業および決済関連事業を拡大する (“事業拡大チャンス”を活かす!)
アウトソーシング事業戦略	お客様の多拠点展開とグローバル展開を支えるアウトソーシング基盤を整備する (“ストックビジネス”を増やす!)

中期経営目標値

本年度新たに策定した中期経営計画の下で、更なる事業拡大を推進してまいります。



連 結	売上高(単位:百万円)		営業利益(単位:百万円)			経常利益(単位:百万円)			親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2016年度(実績)	27,430	101.2%	1,309	90.7%	4.8%	1,243	89.7%	4.5%	859	106.7%	3.1%
2017年度(計画)	27,500	100.3%	1,320	100.8%	4.8%	1,260	101.3%	4.6%	860	100.1%	3.1%
2018年度(計画)	30,300	110.1%	1,500	113.6%	5.0%	1,430	113.5%	4.7%	1,000	116.3%	3.3%
2019年度(計画)	33,300	109.9%	1,800	120.0%	5.4%	1,700	118.9%	5.1%	1,220	122.0%	3.7%

● 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当期末 2017年3月31日現在	前期末 2016年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,433,220	12,687,856
固定資産	3,598,527	3,268,927
有形固定資産	1,244,257	1,299,641
無形固定資産	1,093,496	835,702
投資その他の資産	1,260,772	1,133,583
資産合計	16,031,747	15,956,784
(負債の部)		
流動負債	5,677,369	4,877,099
固定負債	2,932,572	4,015,243
負債合計	8,609,941	8,892,343
(純資産の部)		
株主資本	7,252,908	6,589,081
その他の包括利益累計額	97,890	102,420
新株予約権	22,446	-
非支配株主持分	48,560	372,938
純資産合計	7,421,805	7,064,440
負債純資産合計	16,031,747	15,956,784

● 連結損益計算書

(単位：千円)

	当期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	前期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	27,430,385	27,094,393
売上原価	22,278,179	21,821,558
売上総利益	5,152,205	5,272,834
販売費及び一般管理費	3,843,049	3,829,487
営業利益	1,309,155	1,443,347
経常利益	1,243,492	1,386,671
親会社株主に帰属する 当期純利益	859,085	805,221

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	前期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,989,566	1,331,940
投資活動による キャッシュ・フロー	784,508	△671,414
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,449,391	339,204
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△137,017	3,044
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,187,665	1,002,774
現金及び現金同等物の 期首残高	4,850,280	3,909,313
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	-	△61,807
現金及び現金同等物の 期末残高	6,037,945	4,850,280

● 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,400,000株
 発行済株式の総数 8,859,000株
 株主数 2,692名

大株主 (上位10名)

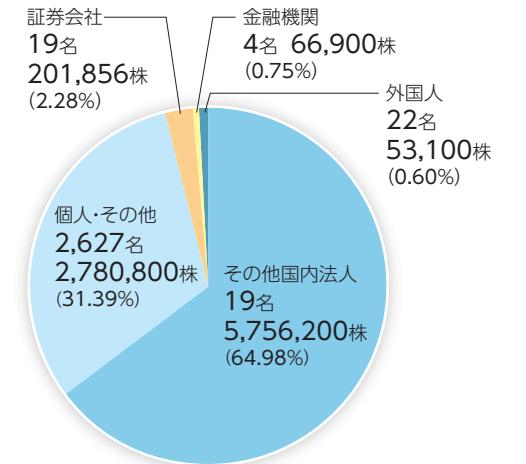
株主名	持株数	持株比率
富士ソフト株式会社	5,615,000株	63.38%
ヴィンクス従業員持株会	345,181	3.89
株式会社SBI証券	101,700	1.14
有限会社協和商事	74,700	0.84
城田正昭	68,300	0.77
吉田知広	66,600	0.75
津田孝博	62,000	0.69
神林忠弘	54,500	0.61
石橋拓朗	53,500	0.60
松浦一夫	50,000	0.56

(注) 1. 持株比率については、自己株式(144株)を控除して計算しております。
 2. 持株比率については、小数点第3位を切り捨てております。

● 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社ヴィンクス (英文名 VINX CORP.)
本社	大阪市北区堂島浜2-2-8
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	596,035,384円
従業員数	1,298名(連結)、1,053名(単体)
連結子会社	株式会社 4U Applications 維傑思科技(杭州)有限公司 Vinx Malaysia Sdn.Bhd. VINX VIETNAM COMPANY LIMITED

● 所有者別株式分布状況 (2017年3月31日現在)



(注) 上記には、自己株式(144株)は含まれておりません。

● 役員 (2017年6月27日現在)

代表取締役 社長執行役員	藤田俊哉
取締役 専務執行役員	今城浩一
取締役 専務執行役員	大西誠
取締役 常務執行役員	木元覚
取締役 常務執行役員	服巻俊哉
取締役 常務執行役員	竹内雅則
取締役	豊田浩一
取締役	岡嶋秀実
取締役(社外)	川口勉
取締役(社外)	大石健樹
常勤監査役(社外)	水口賢
監査役(社外)	村田智之
監査役(社外)	佐藤吉浩